

木の駅を支える 思い

俺たちは、「面白くしよう、遊ぼう」と思って。



笠周地域木の駅実行委員会 委員長 鈴木今衛さん

山仕事はやったことなかったけど、恵南豪雨で他人事やないと思って夕立山森林塾に入り、地元仲間と杣組を結成した。杣組は頼まれたとこの間伐を、伐った材だけもろうという形でやっている。杣組ももり券があるでやれとる。もり券は金やないでいい。計算するとやるとれんけど、タダだと思っていたのがもり券になつたつちゅう感じがあるから。若い人たちは生活していくだけで精一杯かもしれないけど、次の世代も大丈夫だと思ふよ。自分たちも山のことやろうと思つたのはやつの頃。消防団終わってから、何かやるのと探しては、全部自分たちが面白くしようと思ってきただけ。

定年退職して、俺の働くところは、もう山よ。

快感やぞ、こんな太いやつを、ヴィイーン、バサアアアって倒れるとき。そりゃ、小さいときから山に入ることが好きだった。木の駅が始まるまでは、自分とこの山を手入れする程度で、木を出して売るとはやつたらんかった。木の駅が始まって、仲間と3人でコンボとはさむやつ買ってよ、仕事も一緒にやつてはもり券を分け合つとる。儲けの計算はしたらあかん。日当を思うと安いもん。曲がった木を伐つて、まっすぐな木が残ると、なんともすがすがしい。『これはいい山になるな』つちゅう、それが魅力よ。もり券でビールを買つてな、飲むやつは楽しいぞ。



木の駅出荷者 池戸正男さん

もり券は面白いよ、人や世代がつながるで。

この頃、もり券持つて飯地から夫婦で買い物に来てくれる人がいるよ。本当に嬉しい。「また家族連れて買い物来るわ」なんて言われると店も張りあいやよ。お孫さんと一緒に来てくれる人もおつて「計算機貸して」「まだ買えるよ」なんてやり取りする光景が、ほのぼのとするね。お金にはないコミュニケーションが生まれるから面白いよね。孫とか子どもと買い物でもり券使つと、「おじいちゃんが山を手入れたでもり券で買い物ができるんだ」って思えるのがいいじゃない。店で買い物しながらも、山で頑張つてることが少し伝わってく気がするし。お金と同じようにぱつと渡すばかりでは、そういうもり券の良さが出ないから、もつたないよね。『地域の木がもり券になつて、地域のいるんなお店で使われる』これが木の駅の理想だよ。



丸栄 サカエヤストア 鷲見孝範さん

木の駅発祥の地！

笠周地域

中野方町
飯地町



夕立山森林塾 薪ステーション



えな市 エネルギーの地産地消スタート！



笠周木の駅 土場

花白温泉



薪ボイラー稼働中！

《情報提供》

◆「木の駅」について詳しく知りたい方

「木の駅プロジェクトポータルサイト」
必読！！『木の駅プロジェクト報告書 2010』ポータルサイトからご注文頂けます。
☎ <http://kinoeki.org/>

◆見学希望 & 応援して下さる方

笠周地域木の駅実行委員会 (代表：鈴木今衛)
〒509-8123 岐阜県恵那市中野方町 1802-1
☎ 090-3257-1541 ✉ imae@marutos.enat.jp

◆「木の駅」を始めたい方・相談したい方

ぎふ小水力発電・木質バイオマス等普及相談センター (NPO法人地域再生機構内)
〒500-8384 岐阜市藪田南 5-14-12 シンクタンク庁舎 3F ぎふNPOセンター内
☎ 058-272-9303 ✉ info@chiikisaisei.org
☎ http://chiikisaisei.org/nature_e/support.html

《発行》

特定非営利活動法人 夕立山森林塾
〒509-7201 岐阜県恵那市大井町 205-1
☎ 080-5129-6016
✉ info@yudachi.org
☎ <http://yudachi.org>

2012年 初版第1刷発行

森林調査～
伐採・搬出講習会
やってます！

山が元気に！ 地域が元気に！



笠周地域木の駅実行委員会
特定非営利活動法人 夕立山森林塾

このパンフレットは、国土緑化推進機構の緑の募金事業の助成を受けて作成しました。



安全な山、 活気あるまち 子や孫の代まで安心して暮らせる郷土に！

子のため、孫のために、先代が植えてきた山。
けれど山で飯が食える時代が終わり、担い手不足で荒れた山は、いつ大雨で崩れるかわかりません。
『手入れはしたいけれど…伐っても山に放っておくしかないから…』 諦めるしかなかった山主さんたち。

『人のざわめきがいっぱい聞こえるそんな森と村を再生したい』

「木の駅プロジェクト」は、そんな願いからスタートしました。

実行委員会で知恵を寄せ合い、木の駅を運営しています。

『地域の未来は、自分たちで決めていく！！』

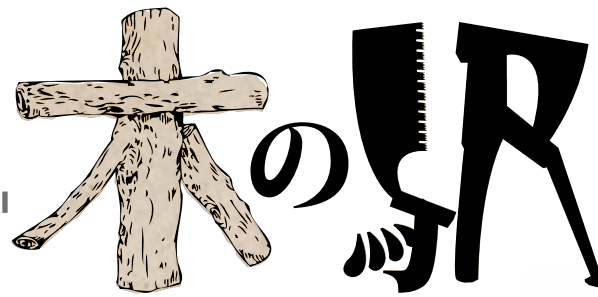
すべては、子のため、孫のため、そして晩酌代のため？！

『木の駅プロジェクト』を、知っていますか？

「山を手入れしながら、地域を元気にしよう！」と、岐阜県恵那市中野方町で2009年12月から始まった社会実験です。

間伐した山の木を出荷すると、地域のお店で使える地域通貨券「モリ券」がもらえます。「道の駅」で規格外の野菜も売れるように、「木の駅」では市場に売れない木も出荷できます。

山仕事の素人でも気軽に参加でき、仲間が広がるのが「木の駅」の特徴です。



運営：木の駅実行委員会

木の販売
(チップ工場や
温泉施設など)

・市や県の補助
・NPOのサポート
・寄付と「志～材」
(材の寄付)

丸太とモリ券を交換

すべては
ここで決める！！

モリ券を現金と交換

モリ券で
晩酌やお買いもの

地域のお店だけで
使える「モリ券」！
「地元のお店」は、地域の宝！！



モリ券 (mori-ken)

笠周地域木の駅実行委員会で発行している地域通貨。

1モリ≒日本国通貨1000円

笠周地域の店舗で利用可能



土場には名札と志～材。
出荷量も自己申告！
すべて性善説！
信頼で成り立つシステム！！



木の駅実行委員会

山主・商店全員と、
行政・NPOなど有志の応援団で構成。
よそ者・若者・女性がいると元気に！



軽トラとチェーンソーがあれば、
誰でも参加できる！
ぼちぼち、安全に、
山をきれいにしよう！！

出荷者 吉田さんの 木の駅生活



伐採 搬出



出荷量を申告



土場に出荷



モリ券の受け取り

地域のお店でお買い物



実行委員会会議に参加